

中国語会話Ⅲ

科目ナンバリング CHI-111
必修 1単位

劔重 依子

1. 授業の概要(ねらい)

この授業は、中国語会話Ⅲと中国語会話Ⅰを併せた週に2回の連続授業となります。中国語会話Ⅲの授業内容は、ピンインの読み書きをマスターした上で、簡単な挨拶と簡単な会話のやり取りができるようになるための様々な訓練を行います。会話文の意味を理解した上で覚えるというテクニック訓練も授業の一環で行います。リスニングの授業と連動した言葉のトレーニングをしながら、常用語彙や簡単なフレーズをとっさに言えるようになることと、相手が話した言葉を聞き取れるようになる訓練をします。一年生の文法を中心とする授業の進み具合に合わせて、この授業では場面による会話練習を行います。教材内容に沿いながら、中国人が普段良く使う表現をマスターします。同時に多くの語彙を身に付けることに重点を置く授業を行います。中国語会話Ⅰの授業内容と連動させ、リスニングと会話のバランスの取れる「話す」「書く」「読む」について反復訓練を行う授業を行います。

2. 授業の到達目標

前期では中国語会話Ⅲ(会話中心)と中国語会話Ⅰ(リスニング中心)の全30回の授業を通して、中国語の発音(ピンイン)の読み書きを身に付け、簡単なことを中国語で相手に伝えられ、簡単な会話のやり取りが出来るようになることを目指します。学んだ語彙と会話文の基本を咀嚼した上で、「話せる」「読める」「聞き取れる」「書ける」ようになることを目指します。HSK漢語レベル試験1級と中国語検定試験準4級レベルの語彙やフレーズを聞き取れること、書けることが身に付くことを目指します。受講する学生全員のモチベーションが上がり、楽しく実践的に中国語会話を学べるように工夫した授業を行います。

3. 成績評価の方法および基準

- ①積極的な中国語での発言や授業参加態度(10%)
- ②毎回の小テスト(20%)
- ③中間テストと期末テスト(30%+40%)

4. 教科書・参考文献

教科書

姜 丽萍 著 『体験漢語基礎教程上』 高等教育出版社

参考文献

孔子学院 『HSK漢語レベル試験』1級単語帳 人民教育出版社

内田慶市(他) 『キクタン中国語』準4級』 アルク出版

5. 準備学修の内容

授業に出席する前に必ず予習・復習して下さい。語学習得は練習を繰り返し行うことが肝心で、単語やフレーズは声に出して練習してきて下さい。また、テキストに備えられたCDを繰り返し聴くように心掛けましょう。一課を終えた後、復習と宿題を必ずやって下さい。単語やフレーズ及び短文を丸暗記するのではなく、頭の中で語順の並びを考えながら、基礎文法を理解した上で覚えることが効果的な学習法です。

6. その他履修上の注意事項

語学学習は自分が興味を持ち、楽しみながら勉強する姿勢が大切でそれが上達への早道です。また、授業中には教材にはなくても、よく使われる重要表現やフレーズなどは必ずノートを取るなど、積極的に授業に取り組む姿勢も大切です。恥ずかしがらずに堂々と発言して、積極的に友達を作ることも大学での勉強の一環として心に刻みましょう。

※辞書を持参することを要求します。2,500円～3,000円のコンパクト『中日・日中辞書』がお勧めです。

7. 授業内容

- 【第1回】 授業の進め方 ピンイントレーニング
- 【第2回】 母音と四声の発音とトレーニング
- 【第3回】 子音と複合母音(挨拶)トレーニング
- 【第4回】 鼻母音と音声変化(挨拶)トレーニング
- 【第5回】 自己紹介(言い方と聞き方)トレーニング
- 【第6回】 住むところ(言い方と聞き方)トレーニング
- 【第7回】 家族と友人の紹介 ;トレーニング
- 【第8回】 復習と中間試験(「発表」と「会話のやり取り」)
- 【第9回】 年月日の言い方; トレーニング
- 【第10回】 時刻の言い方; トレーニング
- 【第11回】 場所を聞く ;トレーニング
- 【第12回】 お金の言い方 ;トレーニング
- 【第13回】 買い物の仕方 ;トレーニング
- 【第14回】 食べ物の仕方 ;トレーニング
- 【第15回】 復習と試験(「発表」と「会話のやり取り」)